

第8回:合理的戦争原因論、民主的平和論とその対抗的議論

合理的戦争原因論、民主的平和論とその対抗的議論を概観する。

資料:砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第10章

第9回:内戦、テロリズム、非国家主体

内戦やテロリズムに関する国際関係論の代表的な研究を紹介する。

資料:砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第12章

第10回:国際政治経済

国際政治経済をめぐる諸理論・論点をカバーする。

資料:砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第11章

第11回:グローバリゼーションと国際関係(テキスト第8章)

グローバリゼーションが国際関係に与える影響の諸側面について講義する。

第12回:情報革命と国際関係(テキスト第9章)

情報革命による国際関係が受けている様々な影響と概念(例、ソフトパワー、パブリックディプロマシー)を講義する。

第13回:現在の引火点(テキスト第7章)

教科書を参照しながら国際関係のリスク要因について分析と議論を行う。

第14回:国際関係の方法

国際関係を分析するさまざまなツールと先端研究の例を示して学問としての展望を示す。

第15回:授業内試験および試験の講評

授業内で試験を実施する。試験の講評を短時間で実施する。



なぜテロリズムが起きてしまうのか？

非対称戦争の一種

誰がテロリストなのか？何がしたいのか？

抑止できるのか？

できないならば、どうしたらいいのか？





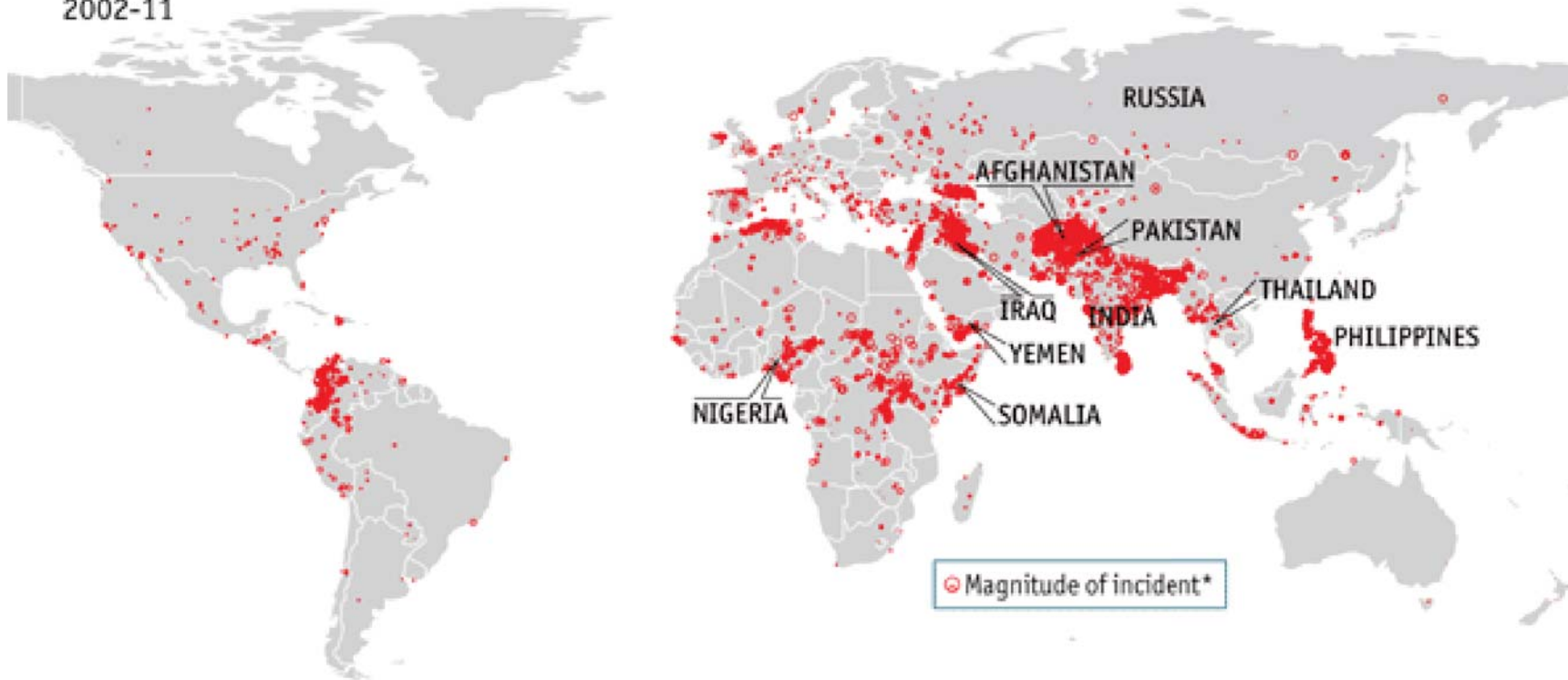
非対称戦争の一種

弱いからテロリズムに走る



Global terrorism index

2002-11



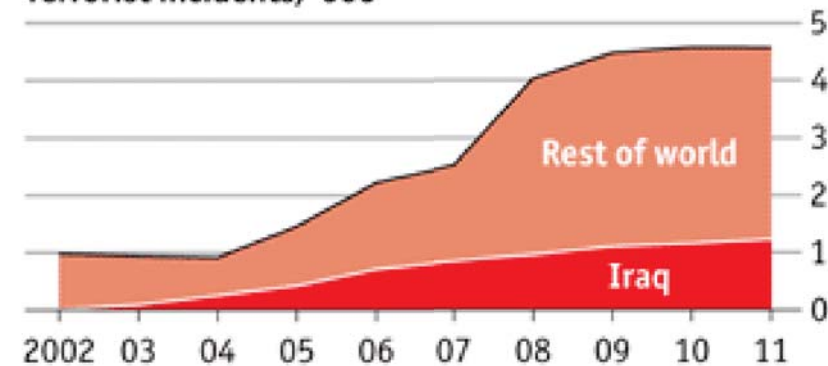
Score, maximum=10

Rank	Country	Score	Rank	Country	Score
1	Iraq	9.56	6	Somalia	7.24
2	Pakistan	9.05	7	Nigeria	7.24
3	Afghanistan	8.67	8	Thailand	7.09
4	India	8.15	9	Russia	7.07
5	Yemen	7.31	10	Philippines	6.80

Source: Institute for Economics and Peace

Economist.com/graphicdetail

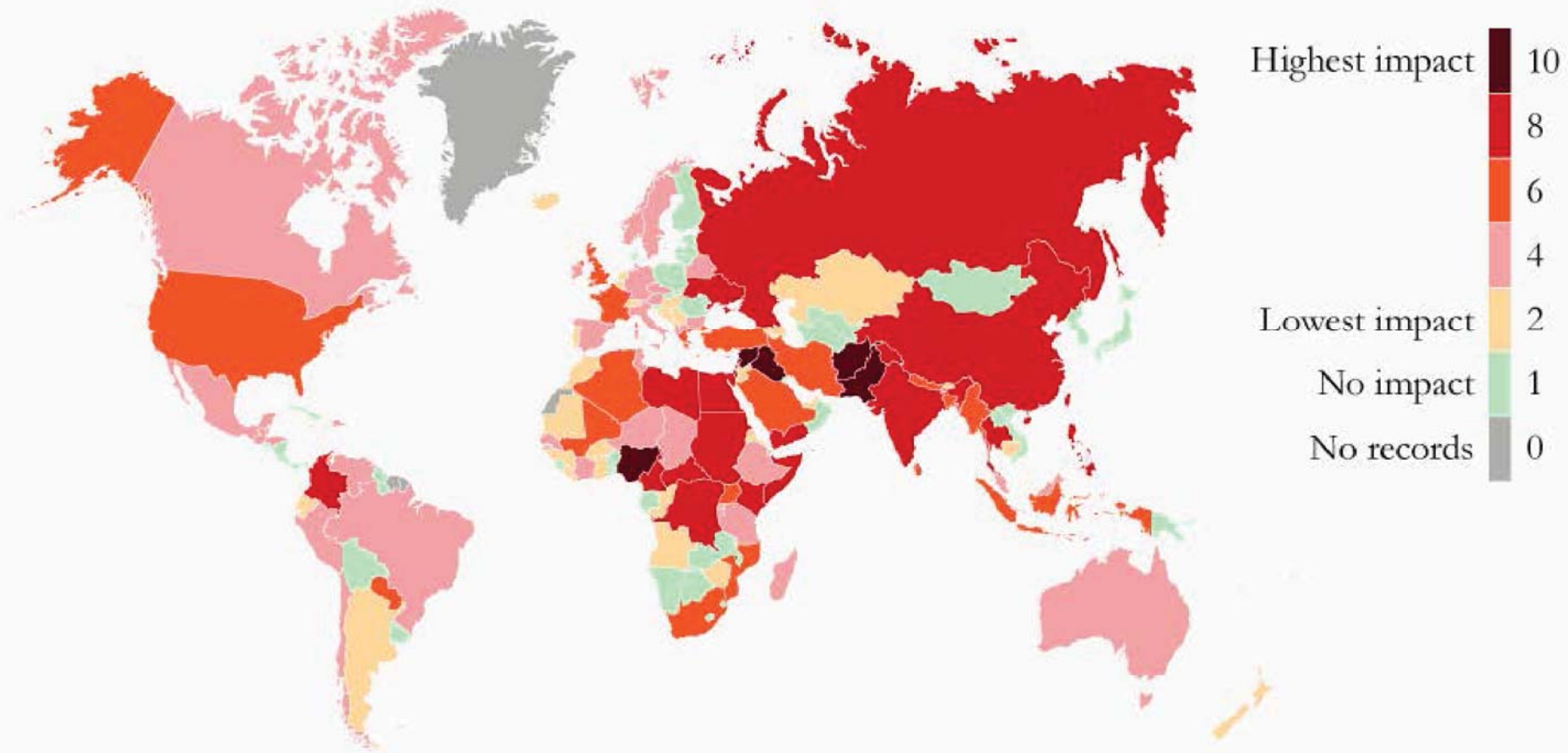
Terrorist incidents, '000



*Based on deaths, injuries and property damage

The biggest victims of terror are Muslim

Index rankings of terrorism's impact across the world in 2014*

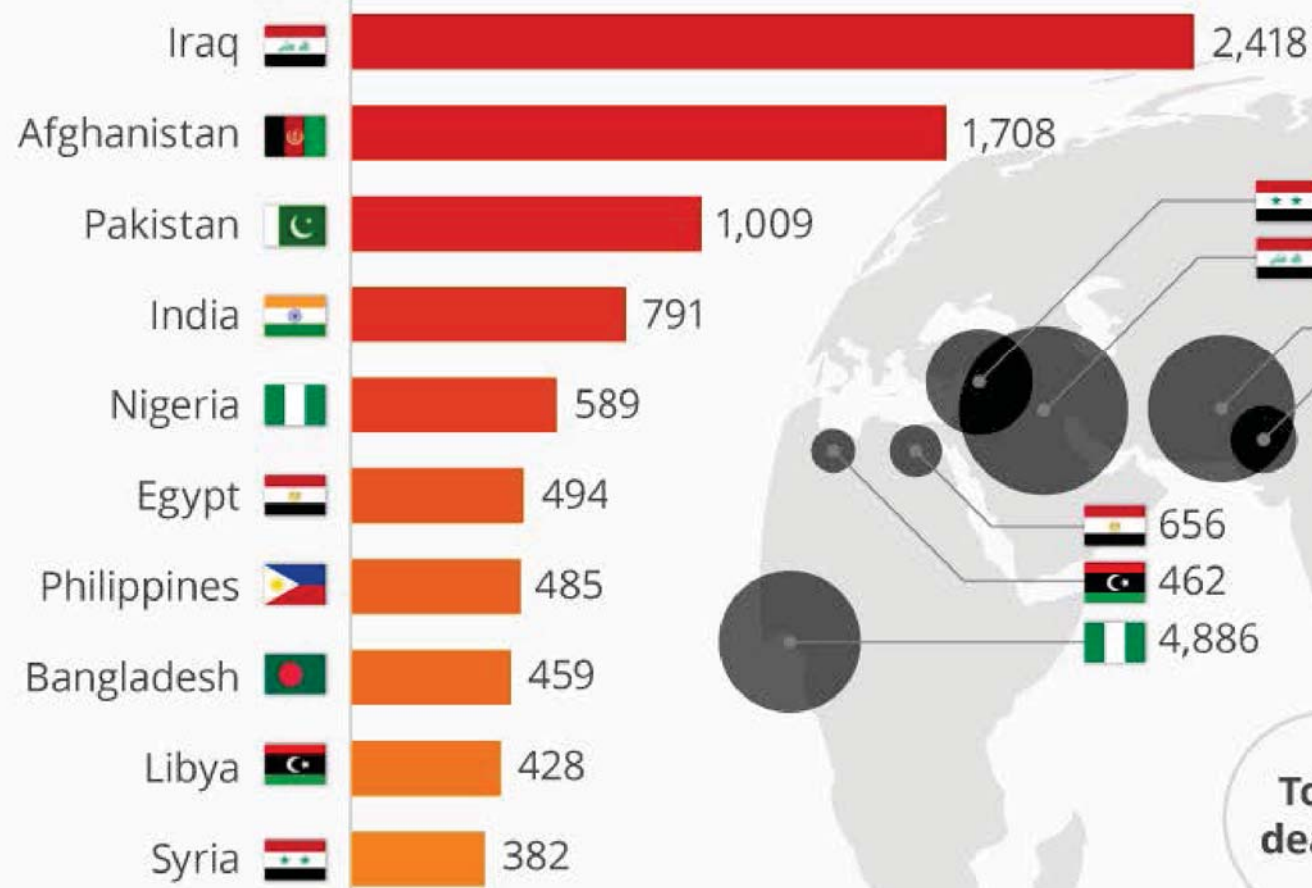


*10 = highest impact

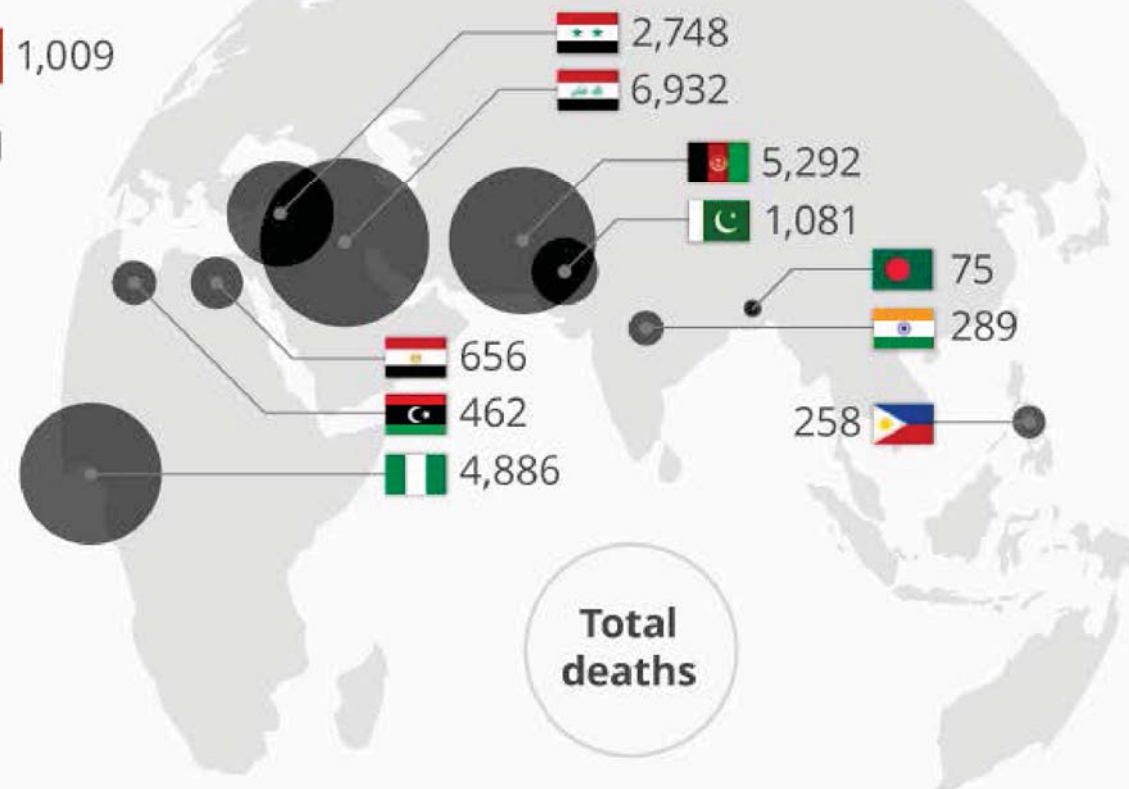
The Countries With The Most Terrorist Attacks

Terrorist attacks and total deaths worldwide in 2015

Total attacks



Total attacks **11,774**
Total deaths **28,328**



@StatistaCharts

Source: US State Department

statista

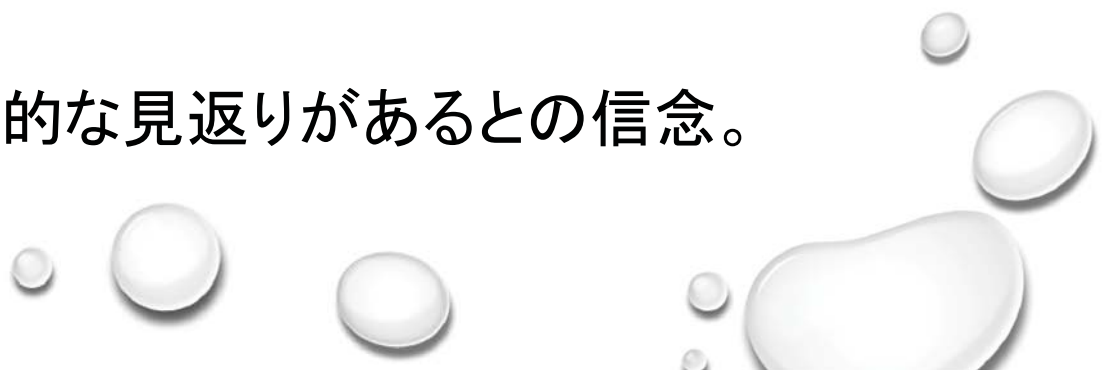



誰がテロリストなのか？







JOHN HORGAN(ペンシルバニア州立大学)の説

- 怒りを感じる。疎外感を感じる。
 - 政治的な変化を生み出すのに今の政治的な関与の仕組みでは不可能だという信念。
 - 社会的な不公正・不公平の犠牲者に対する強い共感。
 - 話し合いよりも行動こそ大事という感覚。
 - 国家に対する暴力は容認されることがあるという信念。
 - 家族や友人の共感と同意。
 - テロリズムに関与することで社会的または心理的な見返りがあるとの信念。
- 



何がしたいのか？





テロリスト側の戦略:「通説」から

Strategy	Logic
Attrition	To persuade the target that the terrorists are strong enough to impose costs on the target
Intimidation	To convince the population that the terrorists are strong enough to punish disobedience and that the target is too weak to protect the population
Provocation	To provoke a heavy-handed reaction from the target, which undermines public support for the government and increases support for the terrorists
Spoiling	To persuade a <u>target</u> that moderates on the terrorists' side are weak and untrustworthy
Outbidding	To convince the public that the terrorists have greater resolve than rival groups and are more capable of eliciting concessions from the target


Figure 1. Strategies of Terrorist Violence

		Target of Persuasion	
		Enemy	Own Population
Subject of Uncertainty	Power	attrition	intimidation
	Resolve		outbidding
	Trustworthiness	spoiling	provocation

KYDD, ANDREW H., AND BARBARA F. WALTER. “THE STRATEGIES OF TERRORISM.” *INTERNATIONAL SECURITY*, VOL. 31, NO. 1, 2006, PP. 49–80. *JSTOR*, JSTOR, WWW.JSTOR.ORG/STABLE/4137539.



抑止できるのか？できないならば、どうしたらいいのか？



第8回：合理的戦争原因論、民主的平和論とその対抗的議論

合理的戦争原因論、民主的平和論とその対抗的議論を概観する。

資料：砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第10章

第9回：内戦、テロリズム、非国家主体

内戦やテロリズムに関する国際関係論の代表的な研究を紹介する。

資料：砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第12章

第10回：国際政治経済

国際政治経済をめぐる諸理論・論点をカバーする。

資料：砂原ほか『政治学の第一歩』有斐閣、第11章

第11回：グローバリゼーションと国際関係(テキスト第8章)

グローバリゼーションが国際関係に与える影響の諸側面について講義する。

第12回：情報革命と国際関係(テキスト第9章)

情報革命による国際関係が受けている様々な影響と概念(例、ソフトパワー、パブリックディプロマシー)を講義する。

第13回：現在の引火点(テキスト第7章)

教科書を参照しながら国際関係のリスク要因について分析と議論を行う。

第14回：国際関係の方法

国際関係を分析するさまざまなツールと先端研究の例を示して学問としての展望を示す。

第15回：授業内試験および試験の講評

授業内で試験を実施する。試験の講評を短時間で実施する。